

自己評価

■あなた自身のことについてお聞きします。当てはまる番号に○印をつけて下さい。

9教科平均 ※(4)・(5)は5教科[国・社・数・理・英]平均

A: そう思う B: だいたいそう思う C: あまり思わない D: 全く思わない

観点	質問項目	学年	A	B	C	D	
関心 意欲 態度	1 授業に必要なものを 忘れずに参加できた	1年	47%	39%	11%	3%	
		2年	53%	44%	2%	1%	
		3年	71%	25%	3%	1%	
		全体	57%	36%	6%	1%	
	2 授業に関心をもって、 意欲的に取り組むこと ができた	1年	36%	50%	12%	2%	
		2年	40%	48%	10%	2%	
		3年	49%	43%	7%	1%	
		全体	42%	47%	10%	1%	
	3 チャイム着席ができた ※5教科 集合場所に集まること ができた※4教科	1年	54%	34%	8%	4%	
		2年	61%	36%	2%	1%	
		3年	78%	19%	2%	1%	
		全体	64%	30%	4%	2%	
	4 授業の予習をした。 国語・社会・数学・理 科・英語	1年	19%	28%	34%	19%	
		2年	12%	39%	32%	17%	
		3年	9%	33%	38%	20%	
		全体	13%	33%	35%	19%	
	5 授業の復習をした。 国語・社会・数学・理 科・英語	1年	20%	33%	31%	16%	
		2年	14%	39%	34%	13%	
		3年	12%	38%	36%	14%	
		全体	15%	37%	34%	14%	
思考 判断	6 授業中に自分で考え、 学習しようと努めてい る。	1年	18%	47%	28%	7%	
		2年	28%	51%	17%	4%	
		3年	26%	55%	17%	2%	
		全体	24%	51%	21%	4%	
技能 表現	7 教わった知識・技術を 活用しようとしている。	1年	22%	40%	29%	9%	
		2年	27%	49%	21%	3%	
		3年	26%	53%	17%	4%	
		全体	25%	48%	23%	4%	
	8 自分の考えやアイデ アを、授業中に発言で きている。	1年	14%	30%	39%	17%	
		2年	20%	42%	29%	9%	
		3年	15%	37%	40%	8%	
		全体	17%	36%	36%	11%	
知識 理解	9 授業の内容をよく理解 している。	1年	33%	44%	17%	6%	
		2年	27%	52%	18%	3%	
		3年	31%	54%	12%	3%	
		全体	30%	50%	16%	4%	
	10 教わった知識が十分 に身についている。	1年	23%	45%	26%	6%	
		2年	26%	47%	23%	4%	
		3年	23%	56%	18%	3%	
		全体	23%	50%	23%	4%	

授業評価

■授業のことについてお聞きします。当てはまる番号に○印をつけて下さい。

9教科平均 ※(14)は5教科と4教科平均別

観点	共通項目	学年	9教科平均 ※(14)は5教科と4教科平均別				A: そう思う B: だいたいそう思う C: あまり思わない D: 全く思わない	
			A	B	C	D		
姿勢	11 授業はわかりやすい。	1年	57%	33%	7%	3%		<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D
		2年	52%	38%	7%	3%		
		3年	54%	42%	4%	0%		
		全体	54%	38%	6%	2%		
	12 先生は質問や発言にきちんと対応している。	1年	53%	36%	9%	2%		<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D
		2年	49%	42%	7%	2%		
		3年	55%	40%	5%	0%		
		全体	53%	39%	7%	1%		
	13 先生は十分準備をして授業にのぞんでいる。	1年	58%	36%	5%	1%		<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D
		2年	57%	39%	3%	1%		
		3年	58%	40%	2%	0%		
		全体	57%	38%	4%	1%		
技術	14 板書は見やすく工夫されている※5教科	1年	52%	37%	9%	2%		<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D
		2年	51%	39%	9%	1%		
	活動への指示はわかりやすい※4教科	3年	51%	39%	9%	1%		
		全体	51%	39%	9%	1%		
内容	15 授業の学習内容や進む速さは適切だ。	1年	46%	35%	15%	4%		<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D
		2年	48%	41%	9%	2%		
		3年	50%	43%	6%	1%		
		全体	48%	40%	10%	2%		
	16 教材・教具が工夫され、学習や理解のために役立った。	1年	38%	46%	14%	2%		<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D
		2年	46%	44%	8%	2%		
		3年	46%	47%	7%	0%		
		全体	43%	45%	10%	2%		
	17 授業でのポイント(重要な点)がよくわかる。	1年	53%	35%	10%	2%		<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D
		2年	53%	38%	7%	2%		
		3年	52%	43%	5%	0%		
		全体	53%	39%	7%	1%		
評価	18 評価についてわかりやすく説明された。	1年	50%	40%	8%	2%		<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D
		2年	42%	43%	11%	4%		
		3年	46%	48%	6%	0%		
		全体	46%	44%	8%	2%		

分析	自己評価	授業準備、授業への関心度、チャイム着席(集合)は、3学年ともプラス評価が85%以上あり定着化がうかがえる。「予習をした」割合は51%以下、「復習をした」割合は53%以下にとどまっており、家庭学習の習慣化が課題となっている。授業中「自分で考え学習している」割合は、学年が進むにつれ1年65%から3年81%へと向上する。「教わった知識・技能の活用」も、学年進行に伴い、1年62%から3年79%へと改善されている。授業中の発言は1年44%、2年76%、3年52%となっており2年がもっとも高い。授業への理解度は、1年77%、2年79%、3年85%となっており、学年が進むにつれ上昇する。「知識が身につけている」生徒は、1年68%、2年73%、3年79%いて、学年進行に伴い理解と定着化が深まっていく実態がうかがえる。
	授業評価	「分かりやすい授業」「先生の対応」「授業準備」「板書の工夫、分かりやすい指示」については、全教科平均では3学年ともほぼ90%以上の生徒がプラス評価となっている。教科別に見ると、「分かりやすい授業」については1年美術が67%、2年理科が75%にとどまっている。「見やすい板書の工夫」については、1年理科69%、1年美術71%、2年数学75%、3年社会54%となっている。授業内容や進度については、全教科平均で1年81%、2年89%、3年93%が「適切」と答えている。教科別では、1年社会60%、1年理科68%、1年美術73%と低い傾向にある。「教材・教具の工夫」では、全教科平均で1年84%、2年90%、3年93%と上昇している。教科別では、1年理科59%、1年美術64%が低い傾向にある。「授業のポイントがよく分かる」と回答した生徒は、全教科平均で1年85%、2年91%、3年95%となっており、学年が進むにつれ上昇する。教科別では、1年美術が64%にとどまっている。「評価の説明」については、全教科平均で1年90%、2年85%、3年94%が「分かりやすい」と答えている。教科別では、2年理科69%、2年保健体育72%で低い傾向が見られる。
課題	授業に対する関心・意欲は高い傾向にあり、授業規律も守られていることがうかがえる。やはり、市・全国学習状況調査でも示された家庭学習時間・学習習慣の定着が課題となっている。学習方法が分からない、学習課題が見つけれない、学習環境が整っていないなど様々な原因が考えられるが、将来への希望が叶えられるように進路選択の幅を広げるためにも、日々の学習習慣を身につけさせる必要がある。授業への関心意欲の高さを次時へと繋げるための創意工夫が求められている。毎授業において、①前時のふり返し ②本時の目標 ③明確な評価を丁寧に説明することにより、学習理解を深めるための予習・復習の大切さを伝えるとともに、小中連携・保護者連携・地域連携(スペシャル補習への参加)・関係機関との連携(生活支援)・カウンセラーの活用などあらゆるツールを利用し、生徒の困り感の解消を目指し取り組みなければならない。生徒が学習に集中できる環境づくりを進め、努力することの大切さと喜びを味わわせるような実践が重要だろう。	